

## 世話人会

11:50 ~ 12:15

第1会場(5F ライフホール)

## ランチョンセミナー

12:25 ~ 13:25

ランチョンセミナー1

第1会場(5F ライフホール)

### 末梢神経疾患の臨床：しびれ・痛みの神経学

演 者：千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学 教授

桑原 聡

座 長：滋賀医科大学内科学講座 脳神経内科 教授

漆谷 真

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

ランチョンセミナー2

第2会場(5F サイエンスホール)

### 作用機序から考えるレケンビの臨床応用

演 者：金沢大学医薬保健研究域 脳神経内科学 教授

小野 賢二郎

座 長：京都大学大学院医学研究科 臨床神経学 教授

松本 理器

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー3

第3会場(5F 501～503号室)

### これからのテクフィデラ治療を考える ～至適患者像は変わるのか～

演 者：愛媛大学大学院医学系研究科 難病・高齢医療学講座 教授

越智 博文

座 長：和歌山県立医科大学 脳神経内科 教授

宮本 勝一

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

# 第1会場 演者・座長一覧

時間帯	番号	発表者	所属	演題名	セッション名	座長(所属)
8:50 ～ 9:22	A-01	藤岡 智宏	大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科	Calcified amorphous tumorによる脳塞栓症を繰り返した一例	血管障害 1	橋本 弘行 (大阪けいさつ病院 脳神経内科)
	A-02	藤本 麻帆里	近畿大学病院・総合医学教育研修センター	黄体ホルモン投与後の脳深部静脈血栓症による脳梗塞		
	A-03	山本 彬広	国立循環器病研究センター 脳血管内科	Duchenne型筋ジストロフィーの若年脳卒中患者に対して機械的血栓回収術を施行し、良好な転帰を得た1例		
	A-04	村上 泰隆	大阪けいさつ病院 脳神経内科	isolated ICA occlusionによる軽症脳梗塞に内科的治療を行い、入院後の症状増悪に対し血行再建術を追加し転帰良好であった一例		
9:27 ～ 9:59	A-05	島田 遥生	神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科	椎骨動脈の走行異常を背景にBow hunter's syndromeを発症した高齢女性の1例	血管障害 2	上原 敏志 (兵庫県立はりま姫路総合 医療センター 脳神経内科・ 脳卒中センター)
	A-06	武内 勝哉	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科	両側上肢麻痺で発症した左椎骨動脈の灌流低下による頸髄梗塞の1例		
	A-07	原 敦	兵庫県立はりま姫路総合医療センター 脳神経内科	ステロイドパルス中に画像・臨床症状が著しく改善した脊髄硬膜動脈瘤の1例		
	A-08	高岡 秀旭	市立豊中病院 脳神経内科	フレマナズマブ投与後に発症した可逆性脳血管攣縮症候群の一例		
10:04 ～ 10:52	A-09	中安 翔一	北播磨総合医療センター 脳神経内科	胃静脈瘤破裂に対する内視鏡的硬化療法後に脳梗塞を発症した1例	若手奨励賞 候補演題 (内科専攻医) 1	永井 義隆 (近畿大学 脳神経内科)  竹島 多賀夫 (富永病院 脳神経内科)
	A-10	梅村 ゆりあ	住友病院 脳神経内科 / 脳卒中・ 脳血管内治療室	“Gerstmann syndrome as a disconnection syndrome”：優位半球前頭葉病巣による白質路の切断		
	A-11	赤松 孝浩	兵庫医科大学病院 脳神経内科	チロシinkinナーゼ阻害薬内服中に多発脳動脈狭窄をきたした1例		
	A-12	岡田 誠央	加古川中央市民病院 脳神経内科	乳癌に伴う血栓性微小血管症(Tumor Thrombotic Microangiopathy: TTM)と考えられた急性出血性脳症の一例		
	A-13	河野 仁	済生会滋賀県病院 脳神経内科	一過性の四肢麻痺で発症し特徴的な画像所見を呈したグラムマブ関連白質脳症の一例		
A-14	藤田 知美	大阪公立大学医学部附属病院 脳神経内科	CSF1R p.Cys774Arg新規変異を認めた神経軸索スライドを伴う遺伝性白質脳症(HDLS/ALS)の一例			
10:57 ～ 11:45	A-15	新藤 有夏	大阪大学医学部附属病院 老年総合内科学	記憶力低下と転倒で発症し、特発性正常圧水頭症との鑑別を要した神経核内封入体病の1例	若手奨励賞 候補演題 (内科専攻医) 2	奥野 龍禎 (大阪大学 神経内科学)  澤田 秀幸 (宇多野病院 脳神経内科)
	A-16	佐藤 拓真	大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科	RITE2スコアはてんかんを発症した自己免疫性脳炎の早期治療方針決定に有効か（自験例を含む18症例での検討）		
	A-17	岩本 宗矩	神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学	海綿静脈洞症候群を呈した転移性悪性黒色腫の一例		
	A-18	前田 達也	医学研究所北野病院 脳神経内科	非絞扼部位での伝導ブロックが診断に有用であった悪性リンパ腫神経浸潤の1例		
	A-19	岡田 慶太郎	京都大学医学部附属病院 脳神経内科	アイスバック試験陽性で重症筋無力症との鑑別に難渋した眼咽頭型筋ジストロフィーの一例		
	A-20	土井 志保里	大阪医科薬科大学 内科学4教室 脳神経内科	ヒラメ筋に脂肪変性を呈し眼咽頭遠位型ミオパシーとの鑑別に遺伝子検査が有用であった眼咽頭型筋ジストロフィーの一例		
11:50～12:15 世話人会						
12:25 ～ 13:25	LS-1	ランチョンセミナー1 末梢神経疾患の臨床：しびれ・痛みの神経学 演者：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究科 脳神経内科学 教授） 座長：漆谷 真（滋賀医科大学内科学講座 脳神経内科 教授） 共催：アルジェニクスジャパン株式会社				
13:30～13:50 若手奨励賞 表彰式						
13:55～17:35 生涯教育講演会						

## 第2会場 演者・座長一覽

時間帯	番号	発表者	所属	演題名	セッション名	座長(所属)
8:50 ┆ 9:22	B-01	森 千晃	国立病院機構大阪刀根山医療センター 脳神経内科	新型コロナウイルス感染後に遅発性に発症したと考えられた脊髄症の一例	感染 1	井上 学 (大阪赤十字病院 脳神経内科)
	B-02	三ツ井 吾朗	関西電力病院 脳神経内科	脳内出血を伴った難治性水痘带状疱疹ウイルス(VZV)髄膜炎の一例		
	B-03	西池 氏暉	大阪ろうさい病院 脳卒中・脳神経内科	腹直筋血腫を合併した単純ヘルペス脳炎の1例		
	B-04	喜多 也寸志	姫路中央病院 神経内科	単純ヘルペス脳炎急性期に、MRI上の病変拡大や髄液異常に対し全身性免疫療法が有効であった1例		
9:27 ┆ 9:59	B-05	松田 樹生	松下記念病院 脳神経内科	脾臓低形成を背景に、cerebral vasculopathyを合併した肺炎球菌性髄膜炎の1例	感染 2	中村 正孝 (関西医科大学 神経内科学)
	B-06	和田 悠作	公立学校共済組合 近畿中央病院 脳神経内科	抗真菌薬奏功にも関わらず視力低下が進行したクリプトコッカス髄膜炎の1例		
	B-07	坂本 健	和歌山医大 脳神経内科	病初期に多発脳梗塞所見を呈した非HIV感染者におけるトキソプラズマ脳炎の一例		
	B-08	太田 和馬	神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科	脳ドックで画像異常を認め脳生検によりクローンツェルト・ヤコブ病と診断した一例		
10:04 ┆ 10:52	B-09	奥田 健太	市立池田病院 脳神経内科	頭部画像検査を契機に診断に至った高齢発症Sturge-Weber症候群III型の一例	若手奨励賞 候補演題 (初期研修医) 1	荒若 繁樹 (大阪医科薬科大学 脳神経内科)
	B-10	米澤 岳輝	大阪市立総合医療センター 脳神経内科	若年発症の再発性脳幹梗塞を契機にCOL4A1 遺伝子の新規バリエーションが同定されたHDLsの一例		
	B-11	秦泉寺皓晟	多根総合病院 脳神経内科	小脳と視床にも病変を伴い、脊髄炎と脊髄梗塞の鑑別に苦慮した一例		
	B-12	伯井 宏行	関西医科大学 初期研修医	反射性ミオクローヌスと声帯麻痺をきたした自己免疫性 GFAPアストロサイトパチーの1例		
	B-13	鈴木裕太郎	奈良県立医科大学附属病院 臨床研修センター	免疫チェックポイント阻害薬投与中に生じた抗NAE抗体陽性小脳炎の一例		
	B-14	福島 遥	大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科	無菌性髄膜炎で発症し診断に難渋した類上皮膚神経膠芽腫の一例		
10:57 ┆ 11:45	B-15	松井 算	兵庫県立丹波医療センター 内科	典型的なMollaret細胞を認めたシェーグレン症候群による再発性髄膜炎の1例	若手奨励賞 候補演題 (初期研修医) 2	尾原 知行 (京都府立医科大学 脳神経内科)
	B-16	蓮池 彩乃	兵庫医科大学病院 初期臨床研修	亜急性感覚性ニューロパチーを契機に傍腫瘍神経抗体症候群・小細胞肺癌を診断し得た一例		
	B-17	村木津希子	滋賀医科大学 医学部 医学科	非乾酪性肉芽腫を伴う皮疹と神経腫大を伴う末梢神経障害をきたした外国人女性の1例		
	B-18	山崎 真	公立甲賀病院 脳神経内科	ロボット支援下直腸切断術後に左下肢の疼痛、CPK高値、筋肥大をきたした一例		
	B-19	草野 侑嗣	近江八幡市立総合医療センター 臨床研修センター	幼少期のポリオ罹患後に運動ニューロン症状を発症し筋萎縮性側索硬化症と判明した1割検例		
	B-20	吉田 大樹	JCHO京都鞍馬口医療センター	L-Dopa持続皮下注療法によりDyskinesia-hyperpyrexia syndromeをきたした一例		
12:25 ┆ 13:25	LS-2	<p>ランチオンセミナー2 作用機序から考えるレケンビの臨床応用</p> <p>演者：小野 賢二郎（金沢大学医薬保健研究域 脳神経内科学 教授） 座長：松本 理器（京都大学大学院医学研究科 臨床神経学 教授） 共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社</p>				

## 第3会場 演者・座長一覽

時間帯	番号	発表者	所属	演題名	セッション名	座長(所属)
8:50 ┆ 9:22	C-01	苗代 悠輝	京都府立医科大学大学院医学系研究科 脳神経内科学	急性症候性発作にて救急搬送された症候性ARIA-Eの一例	変性・その他	池田 昭夫 (京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座)
	C-02	荒木 健	社会医療法人愛仁会 高槻病院 脳神経内科	脳生検で診断し得た脳微小出血が乏しい脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の1例		
	C-03	米谷 廉	国立病院機構 宇多野病院 脳神経内科	非典型的経過を示し7年の経過で死亡に至ったパーキンソン病の1例		
	C-04	大槻 俊輔	近畿大学病院 脳卒中センター	放射線治療および偽性偽性副甲状腺機能低下症に伴う大脳基底核石灰化症		
9:27 ┆ 9:59	C-05	中嶋 拳也	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬投与後に頻回の意識消失発作とオプソクロノスをきたした1例	免疫・その他	柳原 千枝 (神戸市立西神戸医療センター 脳神経内科)
	C-06	中村 航大	神鋼記念病院 脳神経内科	免疫チェックポイント阻害薬の治療中に発症した傍腫瘍性神経症候群の1例		
	C-07	竹島 隆朔	神戸市立西神戸医療センター 脳神経内科	両側視床、脳幹に病変を認め、急激な経過を辿った急性脳症の1例		
	C-08	守屋 和起	国立病院機構 奈良医療センター 脳神経内科	プラミベキソールが著効した周期性四肢運動異常症の1例		
10:04 ┆ 10:44	C-09	安東 孝記	国立循環器病研究センター 脳神経内科	頭部MRIで造影効果を伴う外転神経の腫大を呈した不全型Fisher症候群の1例	末梢神経	野寺 裕之 (天理よろず相談所病院 神経筋疾患センター)
	C-10	山川健太郎	大阪赤十字病院 脳神経内科	感覚性ニューロパチー発症後、約半年後に視神経炎を発症した症例		
	C-11	八木 康至	市立東大阪医療センター 脳神経内科	抜歯をきっかけに感覚障害が左顔面から尾側へ拡大し咽嚥と嚙下障害が10年後に出現したfacial-onset sensory and motor neuropathy (FOSMN) の1例		
	C-12	稲垣 泰申	関西電力病院 脳神経内科	亜急性の経過で運動障害優位であった抗MAG抗体ニューロパチーの1例		
	C-13	渡部 俊介	神戸赤十字病院 脳神経内科	原因不明の大腿神経と外側大腿皮神経障害を呈した1例		
10:57 ┆ 11:37	C-14	前田 周作	大阪公立大学大学院医学研究科 形成外科学	筋生検再考 一形成外科的手術手技を踏まえて	筋・腫瘍	泉 哲石 (奈良県立医科大学 脳神経内科)
	C-15	久富 隆寛	近畿大学病院 脳神経内科	ANOS関連遠位型ミオパチーの原因遺伝子変異を有する抗横紋筋抗体陽性筋炎の1例		
	C-16	加藤 拓真	京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科	神経核内封入体病との鑑別に難渋した血管内リンパ腫の1例		
	C-17	渡邊 圭崇	天理よろず相談所病院 脳神経内科	左腕神経叢に対する超音波ガイド下針生検により診断できた神経リンパ腫の1例		
	C-18	中村 美咲	京都中部総合医療センター 脳神経内科	髄膜腫摘出術により水頭症が改善した1例		
12:25 ┆ 13:25	LS-3	<p>ランチョンセミナー 3                      これからのテクフィデラ治療を考える ～至適患者像は変わるのか～                      演 者：越智 博文 (愛媛大学大学院医学系研究科 難病・高齢医療学講座 教授)                      座 長：宮本 勝一 (和歌山県立医科大学 脳神経内科 教授)                      共 催：バイオジェン・ジャパン株式会社</p>				

# 第1会場

## 血管障害 1

座長：橋本 弘行  
(大阪けいさつ病院 脳神経内科)

8:50～9:22

### A-01 Calcified amorphous tumor による脳塞栓症を繰り返した一例

○藤岡 智宏<sup>1</sup>、高杉 純司<sup>1</sup>、河村 愛<sup>2</sup>、村上 駿平<sup>1</sup>、木原 圭梧<sup>1</sup>、小河 浩太郎<sup>1</sup>、  
河野 友裕<sup>1</sup>、権 泰史<sup>1</sup>、神吉 秀明<sup>1</sup>、佐々木 勉<sup>1,2</sup>、宮川 繁<sup>2</sup>、望月 秀樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科  
<sup>2</sup>大阪大学医学部附属病院 心臓血管外科

### A-02 黄体ホルモン投与後の脳深部静脈血栓症による脳梗塞

○藤本 麻帆里<sup>1</sup>、大石 典明<sup>1</sup>、大槻 俊輔<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学病院・総合医学教育研修センター  
<sup>2</sup>近畿大学病院・脳卒中センター

### A-03 Duchenne 型筋ジストロフィーの若年脳卒中患者に対して機械的血栓回収術を施行し、 良好な転帰を得た 1 例

○山本 彬広<sup>1</sup>、鴨川 徳彦<sup>1</sup>、井上 学<sup>2</sup>、宮川 健<sup>3</sup>、阿部 桜子<sup>1</sup>、乾 涼磨<sup>1</sup>、  
阿部 宗一郎<sup>4</sup>、筒井 泰史<sup>3</sup>、豊田 一則<sup>1</sup>、古賀 政利<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立循環器病研究センター 脳血管内科  
<sup>2</sup>国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科  
<sup>3</sup>国立循環器病研究センター 脳神経外科  
<sup>4</sup>国立循環器病研究センター 脳神経内科

### A-04 Isolated ICA occlusion による軽症脳梗塞に内科的治療を行い、入院後の症状増悪に 対し血行再建術を追加し転帰良好であった一例

○村上 泰隆<sup>1</sup>、明田 秀太<sup>2</sup>、神野 隼輝<sup>1</sup>、山野 敏基<sup>2</sup>、池上 剛史<sup>1</sup>、秀嶋 信<sup>1</sup>、  
西田 福子<sup>1</sup>、福留 賢二<sup>2</sup>、本山 靖<sup>2</sup>、橋本 弘行<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪けいさつ病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>大阪けいさつ病院 脳神経外科

## 血管障害 2

座長：上原 敏志  
(兵庫県立はりま姫路総合医療センター  
脳神経内科・脳卒中センター)

9:27～9:59

### A-05 椎骨動脈の走行異常を背景に Bow hunter's syndrome を発症した高齢女性の1例

○島田 遥生、前川 嵩太、野村 倫子、槌田 健太、上村 創太、春名 孝太郎、  
尾原 信行、川本 未知  
神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科

### A-06 両側上肢麻痺で発症した左椎骨動脈の灌流低下による頸髄梗塞の1例

○武内 勝哉、菊井 祥二、柏谷 嘉宏、團野 大介、杉山 華子、太田 久仁子、  
村方 健治、竹島 多賀夫  
社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科

### A-07 ステロイドパルス中に画像・臨床症状が著しく改善した脊髄硬膜動静脈瘻の1例

○原 敦<sup>1</sup>、坂東 美樹<sup>1</sup>、板垣 実幸<sup>1</sup>、清家 尚彦<sup>1</sup>、寺澤 英夫<sup>1</sup>、清水 洋孝<sup>1</sup>、  
瓦井 俊孝<sup>1</sup>、溝部 敬<sup>2</sup>、上原 敏志<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>兵庫県立はりま姫路総合医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>同 脳神経外科

### A-08 フレマネズマブ投与後に発症した可逆性脳血管攣縮症候群の一例

○高岡 秀旭、村田 尚、岡田 佳樹、山田 雅彬、早野 絵梨、仲谷 利栄、  
杉浦 由理、横江 勝  
市立豊中病院 脳神経内科

## 若手奨励賞候補演題（内科専攻医） 1

座長：永井 義隆  
(近畿大学 脳神経内科)

竹島 多賀夫  
(富永病院 脳神経内科)

10:04～10:52

### A-09 胃静脈瘤破裂に対する内視鏡的硬化療法後に脳梗塞を発症した 1 例

○中安 翔一<sup>1</sup>、小田 哲也<sup>1</sup>、高田 真利子<sup>1</sup>、大村 晃太郎<sup>1</sup>、矢幡 悟大<sup>1</sup>、  
阿部 哲之<sup>2</sup>、岡山 公宣<sup>1</sup>、濱口 浩敏<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北播磨総合医療センター 脳神経内科、<sup>2</sup>北播磨総合医療センター 消化器内科

### A-10 “Gerstmann syndrome as a disconnection syndrome”：優位半球前頭葉病巣による白質路の切断

○梅村 ゆりあ<sup>1</sup>、柴田 益成<sup>1</sup>、永井 優子<sup>2</sup>、下川 大智<sup>3</sup>、西中 和人<sup>1</sup>

<sup>1</sup>住友病院 脳神経内科／脳卒中・脳血管内治療室、<sup>2</sup>住友病院 リハビリテーション技術科、  
<sup>3</sup>住友病院 放射線技術科

### A-11 チロシキナーゼ阻害薬内服中に多発脳動脈狭窄をきたした 1 例

○赤松 孝浩、徳原 悠介、森下 豊生、谷田 麻実、山中 大輔、吉積 一樹、  
右近 紳一郎、渡邊 将平、笠間 周平、木村 卓

兵庫医科大学病院 脳神経内科

### A-12 乳癌に伴う血栓性微小血管症(Tumor Thrombotic Microangiopathy : TTM)と考えられた急性出血性脳症の一例

○岡田 誠央<sup>1</sup>、武田 侑己<sup>1</sup>、永田 格也<sup>1</sup>、島谷 佳光<sup>1</sup>、石原 広之<sup>1</sup>、  
木戸口 慶司<sup>2</sup>、土屋 和彦<sup>3</sup>

<sup>1</sup>加古川中央市民病院 脳神経内科、<sup>2</sup>同 脳神経外科、<sup>3</sup>同 乳腺外科

### A-13 一過性の四肢麻痺で発症し特徴的な画像所見を呈したガラツムマブ関連白質脳症の一例

○河野 仁<sup>1</sup>、中島 大輔<sup>1</sup>、周防 大貴<sup>1</sup>、阪口 和希<sup>1</sup>、武澤 秀理<sup>1</sup>、古屋 彩<sup>2</sup>、  
藤井 明弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>済生会滋賀県病院 脳神経内科、<sup>2</sup>済生会滋賀県病院 血液内科

### A-14 CSF1R p.Cys774Arg 新規変異を認めた神経軸索スフェロイドを伴う遺伝性白質脳症(HDLS/ALSP)の一部検例

○藤田 知美<sup>1</sup>、武田 景敏<sup>1</sup>、坂本 香織<sup>2</sup>、初田 裕幸<sup>3</sup>、高尾 昌樹<sup>4</sup>、池内 健<sup>5</sup>、  
伊藤 義彰<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪公立大学医学部附属病院 脳神経内科、<sup>2</sup>同大学院医学研究科 診断病理・病態学、

<sup>3</sup>脳神経内科はつたクリニック、<sup>4</sup>国立精神・神経センター臨床検査科、<sup>5</sup>新潟大学脳研究所

## 若手奨励賞候補演題（内科専攻医）2

座長：奥野 龍禎  
(大阪大学 神経内科学)  
澤田 秀幸  
(宇多野病院 脳神経内科)

10:57～11:45

### A-15 記銘力低下と転倒で発症し、特発性正常圧水頭症との鑑別を要した神経核内封入体病の1例

○新藤 有夏<sup>1</sup>、山本 翔<sup>1</sup>、手代木 紳<sup>1</sup>、三木 渉<sup>1</sup>、郡山 弘<sup>1</sup>、武田 朱公<sup>2</sup>、  
鷹見 洋一<sup>1</sup>、曾根 淳<sup>3</sup>、山本 浩一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学医学部附属病院 老年総合内科学、<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学、  
<sup>3</sup>愛知医科大学 加齢医科学研究所

### A-16 RITE2 スコアはてんかんで発症した自己免疫性脳炎の早期治療方針決定に有効か（自験例を含む18症例での検討）

○佐藤 拓真、清水 幹人、友田 卓宏、伊藤 舞、島田 勇毅、東田 京子、深阪 勲、  
隅蔵 大幸、星 拓、坂口 学

大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科

### A-17 海綿静脈洞症候群を呈した転移性悪性黒色腫の一例

○岩本 宗矩<sup>1</sup>、的場 健人<sup>1</sup>、井上 まり<sup>1</sup>、末廣 大知<sup>1</sup>、尾谷 真弓<sup>1</sup>、古東 秀介<sup>1</sup>、  
千原 典夫<sup>1</sup>、関口 兼司<sup>1</sup>、横山 大輔<sup>2</sup>、井上 英軌<sup>3</sup>、立澤 奈央<sup>4</sup>、木村 英仁<sup>4</sup>、  
篠山 隆司<sup>4</sup>、松本 理器<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup>神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学、<sup>2</sup>同 皮膚科学、<sup>3</sup>同 病理診断学、

<sup>4</sup>同 脳神経外科学、<sup>5</sup>京都大学大学院医学研究科 臨床神経学

### A-18 非絞扼部位での伝導ブロックが診断に有用であった悪性リンパ腫神経浸潤の1例

○前田 達也、小松 研一、石田 光広、北村 算英、吉田 匡伸、辻村 敦史、  
後藤 昌広、奥田 真也、樽野 陽亮、宮本 将和、金子 鋭

医学研究所北野病院 脳神経内科

### A-19 アイスバック試験陽性で重症筋無力症との鑑別に難渋した眼咽頭型筋ジストロフィーの一例

○岡田 慶太郎<sup>1</sup>、今中 翔平<sup>1</sup>、上田 紗希帆<sup>1</sup>、中西 悦郎<sup>1</sup>、池田 昭夫<sup>2</sup>、  
松本 理器<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 脳神経内科

<sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座

### A-20 ヒラメ筋に脂肪変性を呈し眼咽頭遠位型ミオパチーとの鑑別に遺伝子検査が有用であった眼咽頭型筋ジストロフィーの一例

○土井 志保里<sup>1</sup>、中村 善胤<sup>1</sup>、細川 隆史<sup>1</sup>、南 成祐<sup>2</sup>、西野 一三<sup>2</sup>、荒若 繁樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪医科薬科大学 内科学4教室 脳神経内科

<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第一部



## 第 2 会場

### 感染 1

座長：井上 学  
(大阪赤十字病院 脳神経内科)

8:50～9:22

#### B-01 新型コロナウイルス感染後に遅発性に発症したと考えられた脊髄症の一例

○森 千晃<sup>1</sup>、山田 雅彬<sup>2</sup>、早野 絵梨<sup>2</sup>、横江 勝<sup>2</sup>、豊岡 圭子<sup>1</sup>、松村 剛<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立病院機構大阪刀根山医療センター 脳神経内科

<sup>2</sup>市立豊中病院 脳神経内科

#### B-02 脳内出血を伴った難治性水痘帯状疱疹ウイルス(VZV)髄膜脳炎の一例

○三ッ井 吾朗、長岡 紗由、稲垣 泰申、上原 尚子、和田 晋一、津崎 光司、  
濱野 利明

関西電力病院 脳神経内科

#### B-03 腹直筋血腫を合併した単純ヘルペス脳炎の 1 例

○西池 氏暉<sup>1</sup>、杉山 靖子<sup>1</sup>、蓮池 裕平<sup>1</sup>、雪本 浩司<sup>2</sup>、由上 登志郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪ろうさい病院 脳卒中・脳神経内科

<sup>2</sup>大阪ろうさい病院 放射線診断科

#### B-04 単純ヘルペス脳炎亜急性期に、MRI 上の病変拡大や髄液異常に対し全身性免疫療法が有効であった 1 例

○喜多 也寸志、幡中 典子、田畑 昌子、加藤 信介、東 靖人

姫路中央病院 神経内科

## 感染 2

座長：中村 正孝  
(関西医科大学 神経内科学)

9:27～9:59

### B-05 脾臓低形成を背景に、cerebral vasculopathy を合併した肺炎球菌性髄膜炎の 1 例

○松田 樹生、田邑 愛子、滋賀 健介  
松下記念病院 脳神経内科

### B-06 抗真菌薬奏功にも関わらず視力低下が進行したクリプトコッカス髄膜炎の 1 例

○和田 悠作、葛 林循、西川 敦子、藤原 瑛子、山中 大輔、平山 喬、上道 知之  
公立学校共済組合 近畿中央病院 脳神経内科

### B-07 病初期に多発脳梗塞様所見を呈した非 HIV 感染者におけるトキソプラズマ脳炎の一例

○坂本 健<sup>1</sup>、小上 修平<sup>1</sup>、中山 宜昭<sup>1</sup>、小泉 祐介<sup>2</sup>、長瀬 尚志<sup>3</sup>、  
高本 雅哉<sup>4</sup>、野呂瀬 一美<sup>3,4</sup>、宮本 勝一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>和歌山医大 脳神経内科

<sup>2</sup>和歌山医大 感染制御部

<sup>3</sup>信州大学 寄生虫感染症学

<sup>4</sup>信州大学 感染病態解析学

### B-08 脳ドックで画像異常を認め脳生検によりクロイツフェルト・ヤコブ病と診断した一例

○太田 和馬<sup>1</sup>、藤原 悟<sup>1</sup>、原 重雄<sup>2</sup>、水滝 智香<sup>3</sup>、井上 貴美子<sup>4</sup>、  
村山 繁雄<sup>5</sup>、石井 淳子<sup>1</sup>、吉村 元<sup>1</sup>、川本 未知<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科

<sup>2</sup>神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科

<sup>3</sup>鳥取県立中央病院、<sup>4</sup>大阪刀根山医療センター

<sup>5</sup>大阪大学 大学院

## 若手奨励賞候補演題（初期研修医） 1

座長：荒若 繁樹  
(大阪医科薬科大学 脳神経内科)

関口 兼司  
(神戸大学 脳神経内科)

10:04～10:52

### B-09 頭部画像検査を契機に診断に至った高齢発症 Sturge-Weber 症候群 III 型の一例

○奥田 健太、別府 祥平、上原 拓也、那波 一郎  
市立池田病院 脳神経内科

### B-10 若年発症の再発性脳幹梗塞を契機に COL4A1 遺伝子の新規バリエーションが同定された HDLS の一例

○米澤 岳輝、吉村 賢二、高木 あかり、森畑 宏一、三枝 隆博  
大阪市立総合医療センター 脳神経内科

### B-11 小脳と視床にも病変を伴い、脊髄炎と脊髄梗塞の鑑別に苦慮した一例

○秦泉寺 皓晟、白石 翔一、仲辻 有佑、國方 桃代、小玉 大地、江並 朋美、  
田中 なつき、北村 絵未、吉田 智子、柳原 武彦  
多根総合病院 脳神経内科

### B-12 反射性ミオクローヌスと声帯麻痺をきたした自己免疫性 GFAP アストロサイトパチーの 1 例

○伯井 宏行<sup>1</sup>、中山 健太郎<sup>2</sup>、中村 正孝<sup>2</sup>、高橋 牧郎<sup>3</sup>、薬師寺 祐介<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学 初期研修医、<sup>2</sup>関西医科大学 脳神経内科  
<sup>3</sup>関西医科大学 神経難病医学講座

### B-13 免疫チェックポイント阻害薬投与中に生じた抗 NAE 抗体陽性小脳炎の一例

○鈴木 裕太郎<sup>1,2</sup>、清水 宏紀<sup>2</sup>、桐山 敬生<sup>2</sup>、泉 哲石<sup>2</sup>、形岡 博史<sup>2</sup>、  
杉江 和馬<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>奈良県立医科大学附属病院 臨床研修センター  
<sup>2</sup>奈良県立医科大学 脳神経内科

### B-14 無菌性髄膜炎で発症し診断に難渋した類上皮神経膠芽腫の一例

○福島 遥<sup>1</sup>、藤岡 智宏<sup>1</sup>、畑中 奈保子<sup>2</sup>、木原 圭梧<sup>1</sup>、小河 浩太郎<sup>1</sup>、  
木村 康義<sup>1</sup>、木嶋 教行<sup>2</sup>、望月 秀樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科  
<sup>2</sup>大阪大学医学部附属病院 脳神経外科

## 若手奨励賞候補演題（初期研修医）2

座長：尾原 知行  
(京都府立医科大学 脳神経内科)  
松井 大  
(大津赤十字病院 脳神経内科)

10:57～11:45

### B-15 典型的な Mollaret 細胞を認めたシェーグレン症候群による再発性髄膜炎の1例

○松井 算、松野 泰幸、大塚 喜久  
兵庫県立丹波医療センター 内科

### B-16 亜急性感覚性ニューロパチーを契機に傍腫瘍神経抗体症候群・小細胞肺癌を診断し得た一例

右近 紳一郎<sup>1</sup>、○蓮池 彩乃<sup>2</sup>、森下 豊生<sup>1</sup>、谷田 麻実<sup>1</sup>、赤松 孝浩<sup>1</sup>、山中 大輔<sup>1</sup>、  
徳原 悠介<sup>1</sup>、吉積 一樹<sup>1</sup>、渡邊 将平<sup>1</sup>、笠間 周平<sup>1</sup>、木村 卓<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>兵庫医科大学 脳神経内科、<sup>2</sup>兵庫医科大学病院 初期臨床研修

### B-17 非乾酪性肉芽腫を伴う皮疹と神経腫大を伴う末梢神経障害をきたした外国人女性の1例

○村木 津希子<sup>1</sup>、田埜 郁実<sup>2</sup>、桂 遥香<sup>2</sup>、玉木 良高<sup>2</sup>、山川 勇<sup>2</sup>、田村 亮太<sup>2</sup>、  
矢端 博行<sup>2</sup>、塚本 剛士<sup>2</sup>、小橋 修平<sup>2</sup>、小川 暢弘<sup>2</sup>、北村 彰浩<sup>3</sup>、  
寺島 智也<sup>2</sup>、漆谷 真<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>滋賀医科大学 医学部 医学科、<sup>2</sup>同 脳神経内科、<sup>3</sup>同 神経難病研究センター

### B-18 ロボット支援下直腸切断術後に左下肢の疼痛、CPK 高値、筋肥大をきたした一例

和田 英貴、○山崎 真、西村 凌征、畑 俊嘉、小河 秀郎  
公立甲賀病院 脳神経内科

### B-19 幼少期のポリオ罹患後に運動ニューロン症状を発症し筋萎縮性側索硬化症と判明した1剖検例

○草野 侑嗣<sup>1,2</sup>、松尾 宏俊<sup>2</sup>、濱田 新七<sup>3</sup>、中村 竜太郎<sup>4</sup>、矢端 博行<sup>4</sup>、  
内中 将貴<sup>5</sup>、丹藤 創<sup>6</sup>、漆谷 真<sup>4</sup>、伊東 恭子<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>近江八幡市立総合医療センター 臨床研修センター、<sup>2</sup>同 脳神経内科、<sup>3</sup>同 病理診断科、  
<sup>4</sup>滋賀医科大学 脳神経内科、<sup>5</sup>京都府立医科大学 病院病理部、<sup>6</sup>同 分子病態病理学

### B-20 L-Dopa 持続皮下注療法により Dyskinesia-hyperpyrexia syndrome をきたした一例

○吉田 大樹<sup>1</sup>、安田 怜<sup>1</sup>、毛受 奏子<sup>1</sup>、石川 光紀<sup>2</sup>、水野 敏樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>JCHO 京都鞍馬口医療センター、<sup>2</sup>医療法人石川医院

## 第3会場

変性・その他

座長：池田 昭夫

(京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座)

8:50～9:22

### C-01 急性症候性発作にて救急搬送された症候性 ARIA-E の一例

○苗代 悠輝、田中 瑛次郎、小林 史弥、北大路 隆正、小島 雄太、  
森井 芙貴子、笠井 高士、尾原 知行  
京都府立医科大学大学院医学系研究科 脳神経内科学

### C-02 脳生検で診断し得た脳微小出血が乏しい脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の1例

○荒木 健<sup>1</sup>、立花 久嗣<sup>1</sup>、伊倉 義弘<sup>2</sup>、松下 達生<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人愛仁会 高槻病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>社会医療法人愛仁会 高槻病院 病理診断科

### C-03 非典型的経過を示し7年の経過で死亡に至ったパーキンソン病の一部検例

○米谷 廉<sup>1</sup>、石原 稔也<sup>1</sup>、富田 聡<sup>1</sup>、喜多村 恭平<sup>2</sup>、南口 早智子<sup>2</sup>、  
綾木 孝<sup>3</sup>、大江田 知子<sup>1</sup>、澤田 秀幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立病院機構 宇多野病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>京都大学医学部附属病院 病理診断科  
<sup>3</sup>京都大学医学部附属病院 脳神経内科

### C-04 放射線治療および偽性偽性副甲状腺機能低下症に伴う大脳基底核石灰化症

田村 雄平<sup>1</sup>、平井 敦樹<sup>2</sup>、○大槻 俊輔<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学奈良病院・血液内科  
<sup>2</sup>近畿大学病院・脳神経内科  
<sup>3</sup>近畿大学病院・脳卒中センター

## 免疫・その他

座長：柳原 千枝  
(神戸市立西神戸医療センター 脳神経内科)

9:27～9:59

### C-05 肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬投与後に頻回の意識消失発作とオプソクローヌスをきたした1例

○中嶋 拳也、北村 慧介、西川 徹、古田 充、寺崎 泰和  
独立行政法人労働者健康安全機構関西労災病院

### C-06 免疫チェックポイント阻害薬の治療中に発症した傍腫瘍性神経症候群の1例

○中村 航大<sup>1</sup>、増田 光輝<sup>1</sup>、村上 永尚<sup>1</sup>、高橋 正年<sup>1</sup>、今尾 舞<sup>2</sup>、  
大塚 浩二郎<sup>2</sup>、鈴木 雄二郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>神鋼記念病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>神鋼記念病院 呼吸器内科

### C-07 両側視床、脳幹に病変を認め、急激な経過を辿った急性脳症の一例

○竹島 隆朔<sup>1</sup>、奥宮 太郎<sup>1</sup>、橋本 朗子<sup>2</sup>、石尾 ゆきこ<sup>1</sup>、柳原 千枝<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸市立西神戸医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>神戸市立西神戸医療センター 免疫血液内科

### C-08 プラミペキソールが著効した周期性四肢運動異常症の1例

○守屋 和起<sup>1</sup>、村瀬 永子<sup>1</sup>、田中 小百合<sup>2</sup>、田中 真理子<sup>1</sup>、井ノ上 博也<sup>1</sup>、  
松村 隆介<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立病院機構奈良医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>国立病院機構奈良医療センター 内科

## 末梢神経

座長：野寺 裕之  
(天理よろず相談所病院 神経筋疾患センター)

10:04～10:44

### C-09 頭部 MRI で造影効果を伴う外転神経の腫大を呈した不全型 Fisher 症候群の 1 例

○安東 孝記、田中 智貴、石山 浩之、本山 りえ、山本 晃匡、塩見 悠真、  
山口 枝里子、阿部 宗一郎、殿村 修一、千葉 哲矢、齊藤 聡、服部 頼都、  
猪原 匡史  
国立循環器病研究センター 脳神経内科

### C-10 感覚性ニューロパチー発症後、約半年後に視神経炎を発症した症例

○山川 健太郎、湯川 佳代子、玉城 駿介、宮原 淳一、武信 洋平、井上 学  
大阪赤十字病院 脳神経内科

### C-11 抜歯をきっかけに感覚障害が左顔面から尾側へ拡大し咀嚼と嚥下障害が 10 年後に出現した facial-onset sensory and motor neuronopathy (FOSMN) の 1 例

○八木 康至、中野 智仁、林 亮佑、三木 崇良、石川 真央、竹中 乃由利、  
濱本 暁子、白石 直之、隅 寿恵、中 隆  
市立東大阪医療センター 脳神経内科

### C-12 亜急性の経過で運動障害優位であった抗 MAG 抗体ニューロパチーの一例

○稲垣 泰申<sup>1</sup>、津崎 光司<sup>1</sup>、三ツ井 吾郎<sup>1</sup>、長岡 紗由<sup>1</sup>、上原 尚子<sup>1</sup>、  
和田 晋一<sup>1</sup>、北川 智也<sup>2</sup>、濱野 利明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西電力病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>関西電力病院 血液内科

### C-13 原因不明の大腿神経と外側大腿皮神経障害を呈した一例

○渡部 俊介、本岡 里英子  
神戸赤十字病院 脳神経内科

10:57～11:37

C-14 筋生検再考 ―形成外科的手術手技を踏まえて―

○前田 周作、元村 尚嗣、諸富 公昭、谷本 華乃子  
大阪公立大学大学院医学研究科 形成外科学

C-15 ANO5 関連遠位型ミオパチーの原因遺伝子変異を有する抗横紋筋抗体陽性筋炎の一例

○久富 隆寛<sup>1</sup>、森田 顕<sup>1</sup>、福本 雄太<sup>1</sup>、寒川 真<sup>1</sup>、桑原 基<sup>1</sup>、平野 牧人<sup>1</sup>、  
西野 一三<sup>2</sup>、永井 義隆<sup>1</sup>

<sup>1</sup>近畿大学病院 脳神経内科

<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター

C-16 神経核内封入体病との鑑別に難渋した血管内リンパ腫の一例

○加藤 拓真、今井 啓輔、山田 丈弘、沼 宗一郎、長 正訓、田中 義大、  
大林 宏旗

京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

C-17 左腕神経叢に対する超音波ガイド下針生検により診断できた神経リンパ腫症の1例

○渡邊 圭崇、末長 敏彦、野寺 裕之、新出 明代、伊藤 大樹、田中 宏明、  
石川 大樹、片山 拓也、伊藤 滉

天理よろづ相談所病院 脳神経内科

C-18 髄膜腫摘出術により水頭症が改善した一例

○中村 美咲<sup>1</sup>、山口 達之<sup>1</sup>、五影 昌弘<sup>1</sup>、辻 健吾<sup>1</sup>、谷山 市太<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都中部総合医療センター 脳神経内科

<sup>2</sup>京都府立医科大学附属病院 脳神経外科